

# 令和7年度 泉区防災講演会

【日時】 令和8年3月4日(水)  
午後2時00分から午後3時30分まで  
(開場 午後1時00分)  
【会場】 泉公会堂

- 1 開会
- 2 泉区長挨拶
- 3 講演

## 地域を守る力、今ここから ～災害に強い地域づくりの第一歩～

講師： よしだ 吉田 りょういち 亮一 氏

- 4 閉会



### 講師プロフィール

宮城県在住の防災アドバイザー。東日本大震災では避難所責任者として地域住民主導の運営を実践。その経験を基に、避難所運営や学校防災・地域防災の重要性を全国で講演・授業を通じて発信。総務省消防庁防災アドバイザーに参画し、実践的防災教育を推進。

メ 毛

# **地域防災活動とは**

## **東日本大震災、あの日あの時**

**日々の防災活動で災害に勝つ**

**災害への危機感と想定以上の備え**

## 目次

- はじめに . . . . . 1
- 防災の基本 . . . . . 1
- 共助で行った平成 18 年からの 5 年間 . . 2～3
- 地域防災 . . . . . 4
- 学校防災と地域防災が一体に . . . . . 4～5
- 行政との地域防災 . . . . . 5
- 東日本大震災で地域が行った事 . . . . . 6
- あの日、あの時、茂庭台五丁目は . . . . 7～8
- 防災アドバイザーとして . . . . . 9

## はじめに

私は平成 17 年に町内会の班長になり地域防災計画を対案、町内会から防災部長の役員に。一年間は防災の知識を習得しつつ五年計画の立案をしました。平成 18 年に町内会総括防災部長となり防災活動を開始しました。共助としての防災を作り上げ様々な活動をして来ました。平成 23 年 3 月 11 日東日本大震災では指定避難所の責任者として 17 日間を勤めました。町内会として共助への活動を進めて来た経験が活かされ、指定避難所は全て地域住民主導で行いました。

## 「防災の基本」

防災の基本は立場や役割に関係なく、自助・共助・公助と全ての人に関係します。全てに言えるのは災害への危機感です。心配ない・あり得ない・大丈夫・まさかと思うのは人間です。実にニュース・新聞、等によく耳にする言葉に 80 年、住んで居るが初めて。まさかこんな大雨とか。地震は来ない地域だった。と良く聞きます。防災は危機感と想定以上の備えが基本です。様々な自然災害が発生します。全ての責任者は最大の危機感と想定以上の備えで命を守る事をお願い致します。

### 危機感と想定以上の備えは全てに関係

#### 一、危機感

相手は自然災害です。まさかが起こり、経験をした事の無い災害。

#### 二、想定以上の備え

想定外は言い訳の言葉。

##### ○ 自助(家庭)

各家庭での防災は災害の知識・備え・共助への理解と協力。

##### ○ 共助(地域)

自助へ協力と公助に頼らず共助で解決。

※人間には考える事と行動する力があります。自然災害に勝つには危機感と想定以上の備えで災害に勝つ。

## 「共助で行った平成 18 年からの 5 年間」

町内会の世帯数 269 世帯

- ① 地域防災マップの作成。
- ② 防災マニュアルの作成。
- ③ 防災用品の購入と備蓄。
- ④ 防災勉強会の実施。
- ⑤ 自主防災組織の設立。
- ⑥ 夜・昼の防災訓練。
- ⑦ 要援護者対策。

※全て町内会の企画と計画で行いました。

### 防災マップ・マニュアルの作成と全世帯(269 世帯)への配布

#### 防災マップ

- A3 ラミネート加工 カラー。
- 危険箇所・一時避難場所・指定避難場所・警察・消防・消火栓・防火用水。

### 防災マニュアルの作成と全世帯(269 世帯)への配布

- 過去の災害・今後の被害想定。
- 災害発生時、個別の対応。
- 災害発生時、町内会の対応。

### 自主防災組織の設立

※ 前年度の班長が自主防災組織委員になる。

- 消火班・救護班・救出班・避難誘導班・給食 給水班・報告連絡班・警備班。

### 防災勉強会実施

※毎年五月・六月に行う。

- 町内会四役 会長・副会長・総務部長・会計部長。
- 班長。
- 自主防災委員。

#### 毎年の防災訓練

※ 夜の防災訓練・昼の防災訓練を交互に行う。

※ 防災訓練の案内は個別手渡し。

※ 平日の日中の災害を想定した訓練の実施を。

- 自宅での訓練（全世帯）→一時避難場所訓練（参加者）→指定避難所訓練（参加者）

#### 防災備品の購入。

※ 防災用品は毎年、防災費を計上。

- 業務用無線機 5 台・ヘルメット・懐中電灯・ブルゾン・ゼッケン・救急用品・担架・車椅子・事務用品・飲料水・発電機 2 台（インバーター付）  
灯光機 4 台（ハロゲン広角）・その他。

#### 援護者対策・介助者対策

※ 介助者を募集次に援護者を募集。

##### 介助者の募集

- 医師・看護師・介護士・薬剤師・保健師・教員・保育士・行政経験者
- ※ 現役で無い方を募集。

##### 援護者の募集

※ 名簿は手書きで原本を使用。

※ 災害時開封。

- 妊産婦・乳幼児・幼児・児童・高齢者・障がい者・外国人。

## 「地域防災」

### 地域防災は家庭から

家庭での備えをお願いします。建物の耐震・室内の点検・外回りの点検・防災用品の備蓄。地域防災への理解と協力。地域防災訓練への家族全員参加を。

### 地域防災とは

地域防災の地域とは地域内全てを言います。  
家庭保育園・保育園・幼稚園・学校・消防・警察・商店会・商工会議所・青年会議所・医療機関・高齢者施設・企業など全てが地域防災に関係します。

### 高齢かは心配ない

普段から大人目線では無く小学生・中学生・高校生を巻き込んだ地域作りが求められます。地域イベントの運営委員会へ小中高校生を参加。

## 「学校防災と地域防災が一体に」

### 学校は

学校防災の基本は児童生徒の安全を確保し、学校を平常授業に戻す。災害時は学校を施設提供として避難所へ開放します。

### 災害時の学校対応へ地域が理解と協力を

- ① 児童・生徒の安全確保と安否確認。
- ② 平常授業へ戻す。
- ③ 災害時の施設提供。
  - ※ ①では学校が休みの時に地域は児童・生徒を安全に避難をさせる。
  - ※ ②では地域が理解と協力をする。
  - ※ ③では避難所の開設・設営・運営は全て地域住民で行う。

### 指定避難所施設提供開示

- ※ 事前に学校平面図に提供場所を明記し地域へ開示。
- 避難場所（体育館・教室・校庭）
- ごみ集積所・ペット避難場所・洗濯場所・トイレ・緊急車両・救援物資  
生活用水・遺体安置場所・その他

### 学校防災訓練と地域防災訓練

- ① 学校防災訓練へ地域が参加。
- ② 地域防災訓練へ小学生・中学生・高校生が参加。

### 様々な学校イベント・式典への防災関係者の参加

※地域の自主防災組織役員・防災会役員を。

例

- 運動会・発表会・フリー参観。
- 入学式・卒業式。

## 地域は

### 学校へ

普段から様々な地域防災の情報を学校へ提供し学校との協議を、行い連携を密にする。

### 学校関係組織へ

P T A ・健全育成協議会などへも地域防災の情報を提供。

## 「行政との地域防災」

### 行政の様々な組織と連携を

危機管理課・教育委員会・地域課・福祉課・保健衛生課  
地域包括支援センター・保育課

### 行政へ頼らず地域は地域で

地域防災用品・防災訓練など地域で出来る事は地域で行う。

### 指定避難所は全て地域住民主導で

行政は災害時に救助と被害状況の収集に全力を尽くし、復旧復興へ全力で対応する。

## 「東日本大震災で地域が行った事」

指定避難所避難者数 約 200 名

- ① 指定避難所設営。
- ② 避難所運営全般。
- ③ 地域への支援活動。
- ※ 避難者以外の地域住民の支援もあった。
- ※ 小学生・中学生・高校生も役割を担う。
- ※ 高齢化は安心。
- ※ 自助・公助で勝った東日本大震災。

### 地震発生

平成 23 年 3 月 11 日 (金) 14 時 46 分 18 秒 マグニチュード 9.0  
死 亡 1 万 5,729 人 (8 月 24 日現在)  
行方不明 4,539 人 (8 月 24 日現在)  
仙台市内 震度 6 強

### 被害

茂庭台五丁目町内会 265 世帯  
人的被害 無  
火災 無  
電気 停電全世帯 (約 5 日間)  
ガス 供給停止全世帯 (3・4 週間)  
水道 断水全世帯 (約 2 週間)  
道路 崩壊一箇所通行止め (5 ヶ月)  
亀裂 (約 60 箇所)  
建物 全壊 (無し)  
全半壊 (2 世帯)  
半壊 (5 世帯)  
一部損壊 (11 世帯)

## 「あの日、あの時、茂庭台五丁目は」

- ① 一時避難場所へ各、家庭から避難をして来た。
  - ② 役員は集会所の防災倉庫から防災用品を一時避難場所へ搬入。
  - ③ 一時避難場所で仮の避難場所設営を開始。
  - ④ 一時避難場所で指定避難所からの連絡を待つ。
  - ⑤ 指定避難所から中学生が指定避難所開設の連絡に来た。
  - ⑥ 一時避難場所から指定避難所へ避難を開始。
  - ⑦ 指定避難所には中学生によって柔道の畳が敷かれていた。
  - ⑧ 炊き出しの準備・照明の設営を開始した。
  - ⑨ 各、役割の担当者を決めて運営を開始。
- ※翌日から本格的に運営を開始した。

### 一時避難所

茂庭台五丁目公園・茂庭台五丁目北公園

一時避難者数 約 40 名

避難時間 約 1 時間

### 茂庭台五丁目の指定避難所

仙台市立茂庭台中学校

指定避難所開設日 平成 23 年 3 月 11 日～平成 23 年 3 月 27 日 16 日間

使用町内会 梨野町内会・一丁目・二丁目・五丁目町内会

避難所は柔剣場を使用

避難者数 約 200 人

開設時刻 午後 4 時 30 分ごろ

避難所内 畳・マット（学校設備）

暖 ファンヒーター（学校設備）

明かり 灯光機（四機、町内会）

電力 発電機（二台、町内会）

炊き出し備品 炊き出し用セット（町内会）

燃料 蒔き（町内会）

飲料水・生活用水 ペットボトル（町内会）・プール（学校）

食料 アルファー米（中学校）

生成食料品（一般・救援物資・買出し）

ボランティア 地域（小中高生・大学生・一般）

## 指定避難所の活動と役割

指定避難所	中学校（施設提供） 各町内会（避難所運営） 行政（情報提供・収集）
避難所総務	避難所責任者（五丁目総括防災部長）
情報報告	行政担当（五丁目総括防災部長）
避難所受付	避難者の出入（中学生）
炊き出し	調理（中高生・各町内） 燃料（中高生・各町内）
生活用水	プールの水汲み（中高生・各町内）
救援物資	荷受・管理（小中高生・各町内）
清掃	トイレ・避難所内（小中高生・各町内）
掲示板	新聞・連絡・情報（中学生）
医療	避難者へ巡回（各町内・行政）

# 「防災アドバイザーとして」

防災アドバイザー吉田亮一の活動

## 地域防災への活動

### 東日本大震災の再現

再現とは東日本大震災で地域住民の行動と自治会役員の行動を再現します。

学校の校庭・体育館を使用して地域の方々に体験をして頂きます。

時間は約二時間三十分です。企画・計画はYY 防災で行います。

### 準備をお願いする物

- ①地域役員（各役割のリーダー）約十名。
- ②参加者は小学生・中学生・高校生・学生・一般。
- ③会場（学校）。
- ④備品。

### 再現の流れ

自宅 ⇒ 公園・集会場 ⇒ 学校

### 依頼者の一例

- ①行政。
- ②町内会・自治会・連合会。
- ③学校とPTA・地域がコラボ。

## 防災講演会

自治会・自主防災組織・行政・商店会・商工会議所・青年会議所・企業  
PTA・子供会・おやじの会・保育園・幼稚園・福祉・女性会

## 教育委員会研修会

教職員・学校安全

## 学校防災

防災教室・防災訓練・学校地域協議会

※全て経験と体験で行います。

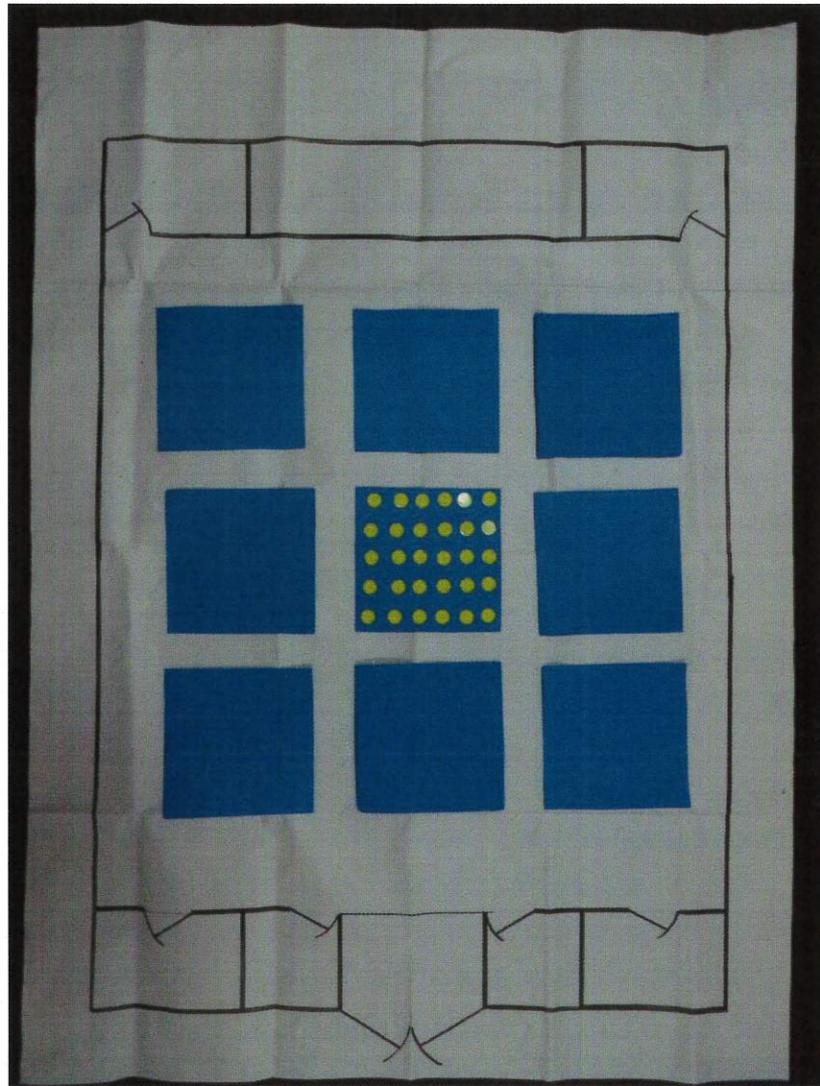
連絡先

022-281-0517

090-1937-9545

防災アドバイザー吉田亮一

## 従来の避難スペース



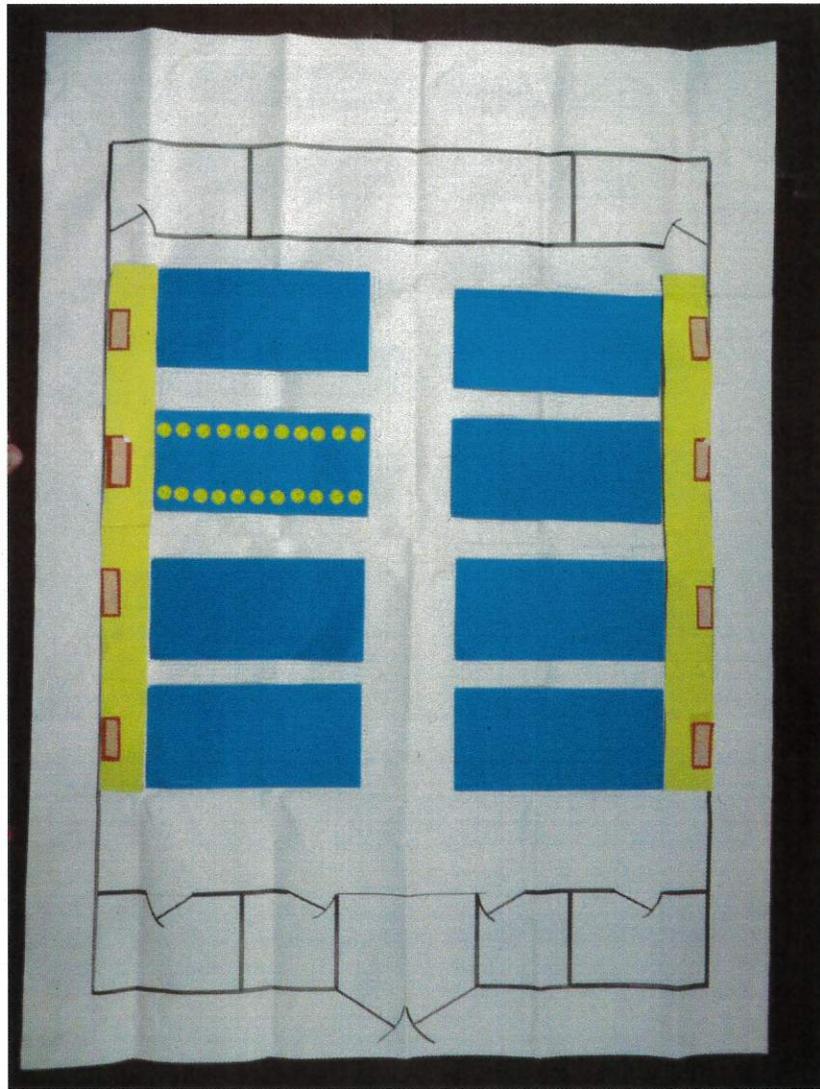
従来の避難スペースでは訓練では、わからない事が起こります。

① 避難者の気疲れ。

② 不審者の発生。

※ 簡単・早い・楽で行う訓練は災害時に様々な弊害が発生します。

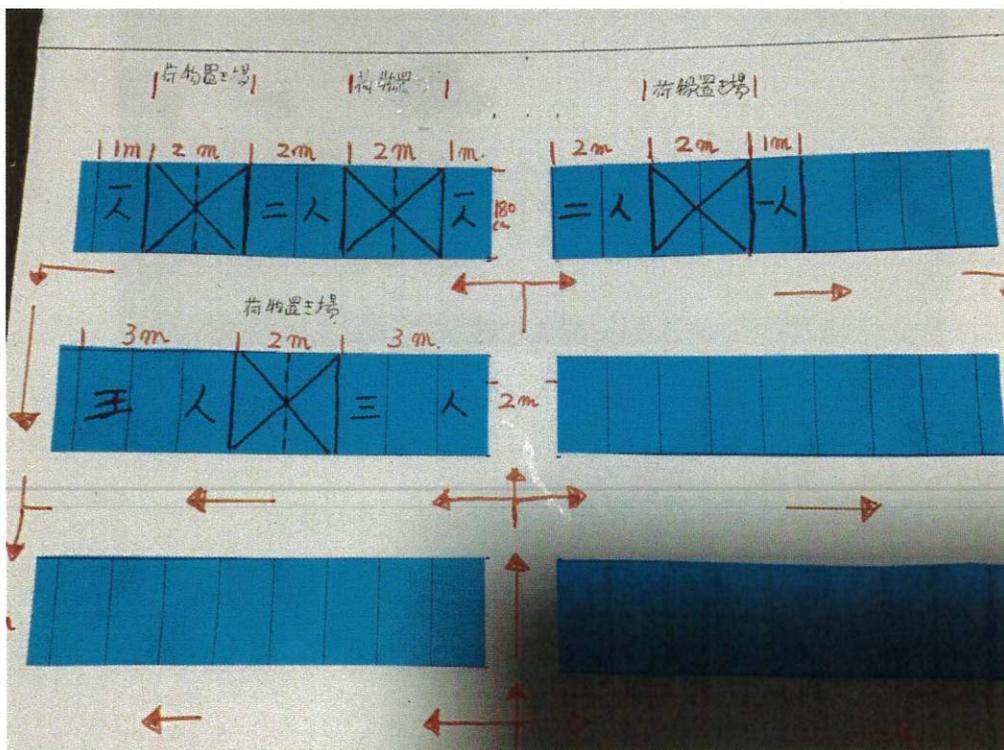
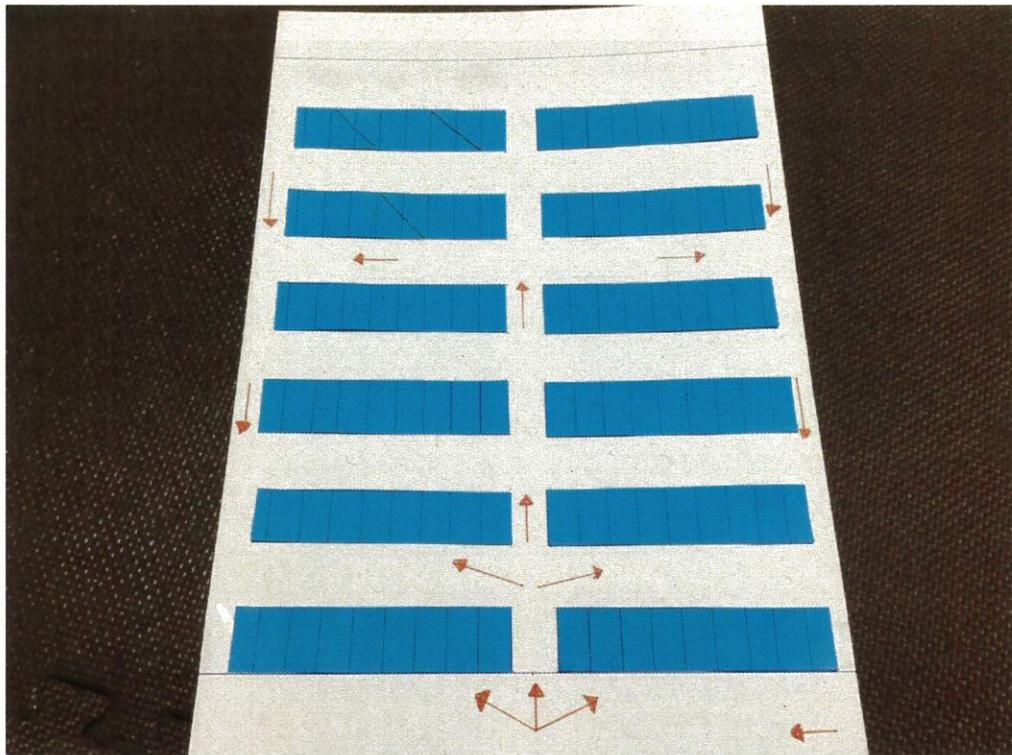
## 半島型避難スペース



### 設営のしかた

- ① 真ん中はメイン通路。2m幅
- ② ブルーは避難スペース。3m60cm幅×壁までの長さ
- ③ ブルーとブルーの間は路地。1m幅
- ④ 黄は高齢者の休憩・談話スペース。体育用マット
- ④ 赤はベンチシート・ひじ掛け・背もたれ。跳び箱の一番上。

# 新型コロナウイルス対策



# 令和7年度 泉区役所主催 防災講演会 参加者アンケート

本日は講演会に御参加いただきありがとうございます。  
泉区の防災対策事業の参考とするため、アンケートへの御協力をお願いします。  
なお、横浜市電子申請・届出システムからの電子申請による回答も可能です。  
(以下の二次元バーコードから回答をお願いします。)

## 1 回答者様の年代について教えてください

- 20代  30代  40代  50代  60代  70代以上

## 2-1 本日の講演会をどのように知りましたか。(複数回答可)

- 自治会町内会からのお知らせ  広報よこはま  
 インターネット ( 泉区 web サイト・ X (旧 Twitter)・ LINE) (横浜市電子申請・届出システム)  
 チラシ (入手先: \_\_\_\_\_)  その他 \_\_\_\_\_

## 2-2 本日の講演内容は、

- とても参考になった  参考になった  どちらとも言えない  
 参考にならない  まったく参考にならない

## 2-3 本日の講演内容で印象に残ったことや感想等を御記入ください。



アンケート回答フォーム

(横浜市電子申請・届出システム)

## 3 今後聴いてみたい防災に関するテーマについてお選びください (複数回答可)

- 自助の取組 (地震・風水害への対策・日頃からの備え)  
 共助の取組 (災害時要援護者対策等)  避難所や避難生活  被災者の体験談  
 その他 \_\_\_\_\_

## 4-1 本日は泉消防署主催の防災講演会 (災害時の口腔ケア) にも参加されましたか

- 参加した  参加していない (泉区役所主催の防災講演会のみ参加)

## 4-2 (「参加した」と回答した方について) 2つの講演会を同日に開催することについて

- 同日開催は良かった  別日が良い

## 5 地域の防災活動 (自治会・町内会や地域防災拠点の訓練等) にどの程度参加していますか

- 定期的に参加している  かつて参加していた  参加したことがない

ありがとうございました。お帰りの際に出入口付近の回収箱にお入れください。

泉区役所総務課

